

ネットワーク長野県史料協

県史料協の今後—防災と資料救出への展望—

長野県史料保存活用連絡協議会 会長 笹本 正治

平成29年（2017）9月6日に発生した千曲市の武水別神社神官「松田館」火災では、県宝の「松田家住宅主屋」「齋館」など5棟が全焼しました。焼け跡の中から文化財などを救出しようと、長野県を通じて長野県史料保存活用連絡協議会の会員をはじめ長野県博物館協議会、市町村教育委員会の職員の皆さんを中心に、資料救出の手助けを募りました。この結果、9月25日の第1回資料救出作業には約30人、10月2日の第2回目の作業では実に60人もの方が集まってくれました。

県が資料救出のためにこれだけ広範囲に連絡を取ったのは初めてのことでした。北は飯山市、南は阿南町から参加者がありました。ほぼ全県ともいえる広いエリアです。遠くは東京から参加してくれた人もいました。皆様の歴史の記憶保存のために尽力しようという熱意に感動いたしました。

この火災を契機にして、長野県では文化財防災対策等検討委員会を設け、文化財の防火・防犯、防災対策等を検討しています。私はその委員長としてまとめ役を務めています。県史料協では第2回講習会で災害時文化財救援のネットワーク作りに向けた動きを進めておりますが、そうした議論も踏まえながら、全県を網羅できる体制を考えていきたいと思っております。

火災など人為的な災害が起きないようにすることが大切です。また、災害時に文化財が被害に遭わないようにしたいものです。そのためには所有者や周囲の人が文化財はなぜ重要で、守っていかねばならないかを認識する必要があります。そのためにも、私たちは文化財の大事さを日常的にしっかり伝えていかねばなりません。

どんなに注意しても災害は起こります。その際いかにして被害を少なくするか、日頃から考えていかねばなりません。災害が起きたときには、所有者や周囲の人たちが文化財の持ち出しなどに当たることになると思っておりますが、大規模

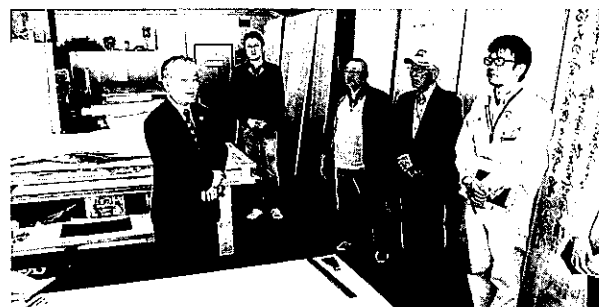
災害ではそれもできません。災害レベル、災害の内容によって対応は異なりますので、災害が起きることを前提にして、具体的に策を練っていきたいと思います。

先に地震で大きな被害を受けた栄村や白馬村には博物館がありません。博物館の仲間だけでなく、全県の教育委員会や地域の研究会などが横に結びついて対応していきましょう。そのための組織化、体制作りが重要な課題です。

災害時の文化財救出のためには、どこにどのような文化財があるのかを把握している必要があります。古文書の場合、どのお宅にどれだけの古文書があるのかといった基礎的なデータ作成作業も必須でしょう。また、救出した文化財をどこに置くか、救出した後その文化財をどのようにするのか、いかに活用するのかなども課題です。県として、いざというとき救出した資料を一時的に保管する空間がどこにあるかを、事前にまとめておかねばなりません。課題は無数にあります。

これまで長野県は、災害時の文化財救出などについて取り組みが遅れていたほうだと思います。昭和24年（1949）1月26日の法隆寺金堂火災によって壁画に大きな被害がでたことを契機にして、文化財保護法が制定されました。本県では松田館火災をきっかけにして文化財防災対策等がしっかりできるようになったといわれたいものです。

そのためにも会員皆様一人ひとりのご協力とご指導をお願いいたします。



4月19日の見学会にて（上田市(株)清蘭堂）

文化財を守るために今できること

第2回文献史料保存活用講習会 「災害と史料保全Ⅱ」参加記

10月26日、県立歴史館で「災害と史料保全Ⅱ」と題した講習会を開催しました。文化財防災ネットワーク推進室から和田 浩氏・六人部 克典氏をお迎えし、県史料協のほか図書館協会、県博協会員あわせて61名の方が参加されました。和田さんからは日常の取り組みにより災害時の被害を最小限にできるとし、「減災」の意識を喚起されました。六人部さんは全国の進んだ動向を紹介いただきながら、大学やNPOなど諸団体とのつながりを恒常的に持つことが災害時の文化財救済活動を進める上で大切と、アドバイスを頂きました。県史料協からは、原田和彦会員からこれまでの被災史料救援活動から見てきた課題を提起いただきました。事務局からは、長野県版防災ネットワークのたたき台を提示しました。

頂いた感想用には、大切なのは災害時に何ができるかだけでなく、災害が起こる前に何をしておくべきかが大切などと記したものが多く見られました。これを契機に、全县を網羅した防災ネットの基盤を作るとともに、平時における文化財への目配りの意識を一層高めたいものです。

長野市公文書館 館長 北澤元一さん

今回の講習会では、災害から文化財を守るためにやるべきことを、事例を交えながら講演をいただきました。長野市公文書館には行政文書や古文書等の紙史料が数多く保管されています。被災資料の対応方法について①史料の救出は時間との戦いであり、早い対応が損出を少なくすること。②事前に災害に備え、資材の確保・保管や応急処置技術の習得等が必要であることなど大変参考になりました。またボランテ

ィアに頼る救出作業には限界があり、継続性の確保が課題としてあることから、県内で救援体制の構築を早急に進めていくことが必要と思いました。

日常管理についても、①被害予防や減災のため、史料を床に直置きしない、②落下防止策を講ずる、③電子データはバックアップして置くなどの紹介されたチェックリストを活用し対策をしておくことが、被害を最小限に止めると考えられます。予算の確保が厳しいなか、創意工夫で取組んでいきたいと思っています。

飯島町教育委員会生涯学習係 主事 氣賀澤愛香さん

今回の講習会を受けて最も印象に残ったことは、「文化財はその土地の人に愛されるもの」という言葉でした。災害時、文化財を守るためにわたしたち文化財担当者ができることは多々あると思いますが、行政に関わる以上、時には人命優先で、文化財は後回しになりがちです。こういった状況の中、少数の文化財担当者だけで頑張るのではなく、地域の方々に協力していただけるような環境作りを、普段から担っていくことが重要であると感じました。日頃から町へ出て、文化財の良さ・重要さを伝えていく必要があるのだと思います。

また、災害はいつでもどこでも起こりうるものであるということにも気付かされました。災害が起こった直後の対応を明確化しておくことや、資料を救出したのち、利活用することを考えておかなければならない現実を目の当たりにしました。

平時から全体で横のつながりを持ち、情報を共有していくよう、日々意識しながら業務にあたりたいと思っています。

平成29年度 長野県史料保存活用連絡協議会のあゆみ(活動報告)

- 平成20年4月19日(水) 第1回見学会「資料修復の現場に学ぶ」(清蘭堂(株)工房見学)
- 平成29年6月22日(木) 第1回理事会・総会(軽井沢町追分宿郷土館)
第1回文献史料保存活用講習会 33名参加
講演 小諸市古文書調査室長 斎藤洋一氏
「古文書を後世へ伝えるために—小諸市の取組を中心に—」
- 10月26日(木) 第2回文献史料保存活用講習会(県立歴史館) 61名参加
基調講演 東京国立博物館 和田浩氏・六人部克典氏
「文化財防災ネットワークと平時の備え」
報告Ⅰ 長野市立博物館 原田和彦氏「文化財レスキューから見えてきた課題」
報告Ⅱ 県立歴史館 村石正行氏「県史料協として取り組むべきこと」
- 平成30年2月27日(火)・28日(水) 第3回文献史料保存活用講習会(県立歴史館) 29名参加
「被災した紙史料の修復—いざという時慌てないために—」
講師 県立歴史館 白沢勝彦氏
- 平成30年3月14日(木) 第2回理事会(県立歴史館)

来年度のおしらせ(予定)

◆小布施町文書館

行事名: 春企画展 国際北斎会議開催20周年「北斎ゆかりのまちから世界へ」

期日: 4月24日(火)～9月22日(土)

概要: 平成10年4月に開催した国際北斎会議と関連イベントを振り返る。

◆諏訪市博物館

「すわ大昔情報センター」オープン! 5月26日(土)午後から一般公開

概要: 藤森栄一ら諏訪の歴史研究を推し進めた先人の研究文献を閲覧できる空間を作りました。

行事名: 速報展「文化財を修復する(仮)—小丸山古墳出土品平成29年度修復完了公開展—」

会期: 5月26日(土)～6月24日(日)

概要: 小丸山古墳の副葬品(銀象嵌の大刀など)の保存修復事業完了分を公開します。

◆中川村歴史民俗資料館

行事名: 「織物の産業文化」(仮)

期日: 10月27日(土)～11月11日(日)(予定)

概要: 中川村の養蚕の歴史を紹介。

◆松代文化施設等管理事務所(真田宝物館)

行事名: 企画展「はん—真田家の花押と印章—」

期日: 3月28日(水)～6月24日(日)

概要: 真田家伝来の歴代藩主の印章と、武将の花押が記された書状などを紹介。

行事名: 特別展「松代藩の戊辰戦争」

期日: 6月30日(土)～9月24日(月・祝)

概要: 戊辰戦争の際、松代藩がどのように関わっていったのかを探る。

◆飯田市歴史研究所

行事名: 地域史研究集会「山里社会の歴史とくらし」

期日: 8月25日(土)・26日(日)

概要: 近世～近代の飯田・下伊那における山里社会を飯田城下町などとの結びつきを含めて考える。

長野県史料保存活用連絡協議会 機関会員名簿 (五十音順)

平成30年4月1日現在

個人会員は除く

ID	会員名	郵便番号	会員住所	電話番号
1	阿南町教育委員会	399-1502	下伊那郡阿南町2333-1	0260-22-2270
2	飯島町教育委員会	399-3702	上伊那郡飯島町飯島2529	0265-86-3111
3	飯田市歴史研究所	395-0803	飯田市鼎下山538	0265-53-4670
4	飯綱町教育委員会生涯学習係	389-1293	上水内郡飯綱町大字牟礼2795-1	026-253-6646
5	伊那市教育委員会	396-0292	伊那市高遠町西高遠1806(高遠教育振興係内)	0265-94-2557
6	上田市立上田図書館	386-0014	上田市材木町1-2-4	0268-22-0880
7	大町市教育委員会	398-8601	大町市大町4700 大町市文化財センター	0261-23-4760
8	小布施町文書館	381-0297	上高井郡小布施町小布施1491-2	026-214-9114
9	軽井沢町追分宿郷土館	389-0115	北佐久郡軽井沢町追分1155-8	0267-45-1466
10	坂城町教育委員会文化財センター	389-0601	埴科郡坂城町坂城6362-1	0268-82-1109
11	佐久市教育委員会 文化振興課	385-0051	佐久市中込2913	0267-63-5321
12	信濃町教育委員会	389-1305	上水内郡信濃町柏原428	026-255-5923
13	須坂市市民共創部生涯学習スポーツ課文化財係	382-8511	須坂市大字須坂1528-1	026-248-9027
14	諏訪市博物館	392-0015	諏訪市中洲171番地 2	0266-52-7080
15	辰野町教育委員会	399-0493	上伊那郡辰野町中央 1 番地	0266-41-1681
16	公益財団法人 田中本家博物館	380-0085	須坂市穀町476	026-248-8008
17	千曲市教育委員会 歴史文化財センター	387-0012	千曲市桜堂268番地 1	026-261-3210
18	茅野市八ヶ岳総合博物館	391-0213	茅野市豊平6983	0266-73-0300
19	中川村教育委員会	399-3802	上伊那郡中川村片桐4757	0265-88-1005
20	長野郷土史研究会	380-0905	長野市七瀬南部14-7	026-224-2629
21	中野市教育委員会事務局生涯学習課	389-2101	中野市大字豊津2508	0269-38-3112
22	長野市公文書館(城山分室)	380-0801	長野市箱清水1-3-8	026-232-8050
23	長和町教育委員会	386-0603	長和町古町4247-1	0268-68-2127
24	南木曾町博物館	399-5302	木曾郡南木曾町吾妻2190	0264-57-3322
25	公益財団法人 八十二文化財団	380-0936	長野市岡田178-13	026-224-0511
26	松代文化施設等管理事務所	381-1231	長野市松代町松代4-1真田宝物館	026-278-2801
27	松本市文書館	390-0837	長野県松本市鎌田2丁目8-25	0263-28-5570
28	南箕輪村教育委員会	399-4592	上伊那郡南箕輪村4840-1	0265-76-7007
29	箕輪町郷土博物館	399-4601	上伊那郡箕輪町中箕輪10286-3	0265-79-4860
30	宮田村教育委員会	399-4301	上伊那郡宮田村7021	0265-85-2314
31	(有) 山本マイクロシステムセンター	381-2221	長野市川中島町御厨1963-5	026-283-5353
32	長野県立歴史館	387-0007	千曲市屋代260-6	026-274-2000

事務局より

昨年度より当会の講習会では文化財レスキューに関わるテーマで研修を重ねてきました。そんななか武水別神社神官「松田館」の火災焼失というニュースがあったことはショックでした。災害は必ずいつかどこかで起こるのだとすれば、100%被害を防ぐことはできない。だとすればわたしたちはいかにその被害を最小限に抑えるのか、という「減災」の意識が大切なのだと思います。

県内各地で公文書館設置の動きがあります。平成30年度には安曇野市に公文書館が設置されます。上田市や東御市、長和町などでも動きがあります。去年は当会の会員も4名増えました。史料協の会員だけでなく、県内各地の団体や機関と連携し裾野を広げていくことも重要です。また、松田館の史料レスキューに大勢の会員の方が参加していただいたことも今後につながります。どこにどんな文化財があるのか今一度地域の中で地に足を付けて見直すときがきているように思います。

平成30年度の総会・講習会は南信地区が当番にあたります。6月21日(木)に諏訪市を会場に開催されます。詳しくは後日通知しますのでご予約頂き、ご参集下さいますようお願い申し上げます。

事務局：長野県立歴史館 文献史料課 〒387-0007 長野県千曲市屋代260-6

電話 026-274-3993 FAX 026-274-3996 E-mail rekishikan-bunken@pref.nagano.lg.jp